御墓念の学王、同妃兩殿下(きのふ物像にて置き)

増進目標とる乾草

の住産などといること

これに必要なる石油を置った。

石油の事實際医が内外地とも の實施 同九時四十分高宗の御聴洪陵に御

更著、御郷室に入らせられ御少額 られ、御召自動車は、東風を被つて

典記の御先導にて御陵を御奉都

**開殿下には引題き洪陵の御跡に** 

同十一時廿分御塾拜を終らせられ

を擁護し來たものである、従の地に集積し執拗にその存在

援凱の禍根を芟除し、大東區

またその國力を集げて戦争に

なされて御野食。

感の御後、李主殿下には簡単に召 分裕臓を御出録、東九酸へ向はせ 足殿の郷室にて西和を軍服に仰召

來襲機十三擊墜

わが前線防空隊活躍

【上海廿日間盟】廿日上海共同租

今田リス

共同戰線緊密

界回収に関する調印式において合

は中國の人しく期望して已会と「婚話にしてこれが行政権の回收」の主都を阻害し来れる最大の

のため際省に堪へざらむと

服如然心一大衛門

のれ同妃殿下には四人縣に召され

いて交通関島帝の経験へ御

日早期プロモン排版コロンバンガ 世一般が來郷したが、わが陸海町 COO基地廿九日同盟 表る廿六 ガーチスホークF40 院職権の破機

領召自助車は一路、京芸街巡を「爆撃機、メクラス体経験機関機、「内七機を膨胀、舒はこして通べし、医路されて通走した

コンソリデーテッド

B 23

守殖隊の振烈なる地上砲火により

れまたわが地上砲火により六機を る取積五十二機が來職したが、こ ージャ島 ムンダにダグ ラス仮影 さんに同日同語語ニュー・

1 が展開される いふまでも わたって「乾草及び堆肥地南部

要は軍幣品であるばかりでな

る。本運動に於いては先づ になってゐないことは勿論であ

現下の時局は益々食糧の

日より向う四ヶ月間、全難に

本年も毎年の例に倣って七月

しかしまたこれだけの地面で足 多々益々辨ずるのである。特に

し現状必ずしも紫癜し得る状態

るものが、各種の運動を破案し

ふ言葉はも早やありふれた言葉 ガンリンの一種は血の一種とい 日附府会を以つて公布された。

たってアラたが、その意味は

そこに過渡的な、そして臨時の 配給 部門のみの 以實である。

て自らそこに適切なる時期と方 ためには、飲めこれが指導に一路 をして目標通り成果あらしめる

紫顔と相俟って、除種見るべき

るといるとである。前ち本運動

稀規則も朝鮮にあっては二十九

の石油事覧制は生産より配給に

構の上にも、また配給系統の上

至る一般せる完全な事實でなく

說社

乾草、堆肥増産について

受する現實を克服して、

あして、未開戦の威女地を

ゐるが、本運動の進盤に當つて

的な効果を狙ふべきである

って、この上は石油の所画車 質様度に統制されてあるのでも い。既に生産は限りある生産

る。一般無要者並に配給業者は

りとすれば、由々しきことであ

主治効能 主治効能

財政で見り で見ります。 で見ります

数本 数本

なつたからである。これだけで 練督府一本に集中されることと

こんな病氣の

がした人人人人人

書版重刊新旬上月

や人と資本主義

¥1.85

令 切符の破行者が道知事より 佐來の空切符や、切符の開取 る。しかも、この原質を通じて 他の重要なる組ひの一つでもあ らうが、またそこが今回の事物

原司政長官(PU)

鈴木 講当

な完全に封ぜられることった

陸軍司政長官(三十日)

も十分事質の効果はあるのであ

石油專賣制

線に起たしめることくなって

めてある。

り、歴生、生徒、男女哲年

るが、又皆能するためにはあく

民語館の今日。誰しもが一瞬

を増して來てある。世界の致 が日と置き、西、ます

でもないが、石油生産配給の常 は措置のやうに思へる<br />
面がない は今日いきなり生産部門まで 度を及ぼすまでになってゐた

ぶでそこに整然たる秩序あるこ

展開層、的散體を御穀行遊ばされ 安ら宮希ふ桝宗の御殿裕陵に向は

御のお同三時世分崇に関を御出

**敷闕する盟民の草取り奏も見受け一の応等官、貴族、御親取等院徒、一同十時五十分御襲動を終らせ給し** 

は選級の樹間に一瞥、二階級の殿

行遊ばされて同三時孫皇に御見

丁字階に入らせられ的歌麿を御 管へさせられ河西典紀の御先導で ふ永徹成に御到着、騰雲に御少顔 分、御生母減散遺妃殴氏の瞑り

文那における租界特に上版

きのふ金谷、清凉里へ御成り

同妃兩殿下御展墓

いされた上海共同和界行政撤回収

長機的處理について一本國政府、日本臣民が共同租界地

帰里へ向はせられ、同二時廿

ものなのであって、今やこの

に中國復興の一大瞭碌をなし

り解放し、もつて大東亜の國

つくめい今や大東亜の諸民族 戦をもつてこれが質現に向ひ ツビンの郷立をも公約し、信國はさらにビルマおよびヒリ

後同地の占むる重要性を称り

面目を一新して競尾すべく今

大東距建設の癌ともいふべき

後年の過世が日華協力により

る世界平和に寄興し得る

序を原距に再び復活せんとす つあるのである

機式されんとすることは大

展する一切の公共施設、 質売など いて同様で上海共同租界工部局に

國府不退轉の

再建育成へ期待す

協力してをるのであるが、常

後の上海共同租界は名質とも

に中華民國の中極大上海市の

時報局發表 (六月卅日午後三時) 帝國政府は本年

權回改實施に關する取極め及び諒解事項の署名調印を見たりるところ、今般兩者間に完全なる意見の一致を見、本卅日南京において上海共同 租界行政部々長との間に中華民國政府による上海共同租界行政権回收の實施に關し協 議せしめ來れ

切を無償で移譲

「關する日本國中華民國間協定』 第四條に基き在華帝國大使をして 中華民國國民政府外交

**松泉行政機関としての活動を停止。 上海共同租界土地草穏及び心補・ 施は昭和十八年中華民國の1年一八月一日の銀房堂施と同時にその「第一一件・一中藤民國政府による」 則常にぶく祖界行政補回収の賃** 

南京で署名調印

て實施

| 英語は表、北京公田館風域行政報題に登門、改造県共同田域行政概念それで、園村に護附したが、日義新院定部人実管は表、北京公田館風域行政報題に登門、支護県共同田域行政概念それで、園村に護附したが、日義新院定部

などを内容とする日蓮新線定を締結、この新線定に基き項管、共同网租界遺附の具態的項項を線離するため日職品

上先づ中國における一切の<br />
田界護附ならびに治外法<br />
物態派

いて谷駐華大使と褚國府外交部長との間に上海共同租界行政權回收實施に關藥兩政府間に完全なる意見一致を見るに至つたので、卅日午後一時審京におより割期的飛躍を遂ぐべく愈々これが選附を實施すべき細目の協定につき日

る取極めならびに諒解事項につき署名調印を了した、

かくて八月一日を期

四條に基く上海共同租界行政権運附については中國の政治經濟上に占めるその重要性にかんがみ引激合日離阿國泰

員間と個重協議を衒行、階級の巡開を進めつくあつたところ東條首相の大東、非建設宣言の發出に

に関し情報局は午後三時左の如く發表したが、なほ國府他においても同日外交節、宣傳節共同秘製を行うた

| 田風の居氏・ 極端およな職能など | 承されるわけであるが、治外法権 | に寄附する推離が出られることで域において称する撤削・ 在住日本 | し、職員その他は上降特別市に数 | の金融を始射金として上降特別市

施までは在田日本臣民は從前通り

については国内はこれを領事維持 する措置を眺ずることになってる

しかして上海共同租界工部局は

回收實施への取極要旨

二、取確め第二條による公共施設し

民國営政地方官圏に引渡さるべ

過时實施と同時にその

で強想される治外法徴の極極、日盛間諸條約の敗訂により取ふ中國の面目は将に一新さるべき段階に到達した。右 上り國府の政治力、特にその經濟金融部面に對する國府第カの邊域は上海共同租界の幾時により自歩を進め、相次 して中國積年の順望たる上海共同租界は國府に回收 eれで國政府の国際なる物力構能に 國政府は日韓共同國軍服用の秘本方針と則り兩國關係の劉邦的發展を理得すると、もに中國の自主滅立と國际の政府は日韓共同國軍服用の秘本方針と則り兩國關係の劉邦的發展を理得すると、もに中國の自主滅立と國际の政

治力發揮を基底とする新中國建設を

(十二日)牛喰八段半より

共同租界土地軍程及び同補間第四條中部民國政府は上海

第五條

回收實施了解事項要旨

所関係を除き工部局と中華民國際及び民官の概求は工部局刑務資産並びに財産上の精和利の移 

刊堂省三

**野鷹の衛店に御敷約御注文を切に部師ひ申上げます。** 野ながら絶勤に御飾り申上げます。細手敷で設範ですが何本観 配約統制その他の関係により、弊耐知度接の御注文は、誠に勝

解 道治 たの人野 要 意解

大河内一男著

スミ

スとり

ŀ

東瓜 5 五六四頁

ションの研究

要似 四・一五 **愛倒 大・三三** 

支那土地制度研

変似六二八頁 変図 三・三四 法

分

制經

濟の

原理為為

十一月九日國府參戰 と同時に

在職米、政教者や中國に返職。もつて日難時間の支が場所が過ぎなかるとものと中國の自主権所続に資せかが、大田さらに進北、華中所在職員、平等のはで強を解論、中國に移動したが、今日さらにその 刊新社論評本日

**電影音幕 宋維新回想記錄問題** 

近世日本農業の構造

南側・八四直

支那戰時通貨問題一斑 於照於

話第二卷頭吸過

群細な説明は改善機付の『新刊弘報』を得れ下さい

**西王大心迎告,** 

文藝春秋社の新刊 編巻乗乗一は大の三 (七月上旬頭發)

送價三芹 ——湯 ••五介 五○页装

文學の三部作成る!!

果亞海戰記第四輯

会別を記載の全貌は、一般戦の全貌は

₹ 86 周〇二四二類 **會協本日際國** 尼納 三方本

ル制制を 上下二卷 各

七

できると、合戦者及版 ン・カンプ研究 3.63 → 各 大 ¥2.999 〒 86

送價B 判 ・ ・ 二 二 二 五 〇 頁

世子晋殿下の御護所衆に関 され軍機に御召替への御のと

理點として尨大なる構然 政治上、經濟上ならびに文化 るものであって、 柳水米英は ごれを中國制制の年間たる 間の別片戦争にその戦を設す は今を堕ること百年

亜制刷の野留を破砕して東西 政府はすでに特國と一 子るに至ったのである。し

座めを見るに至つたとは友頼本日上海共同租界の運附取 遺に関しその他の関係を過ぎ人は上海共同在長

反蔣暴動 

背景とする反応

むるものにして、その感流ま 泉距版銀完遂途上でおける日 そもく一今次大東距戦争の とに大なるものあるといは 建設の性格を明かならし

> 公敵であり敗省の悲しむべきる如き非国は正に人類正確の 誠意以て報い 汪行政院長感激を謂る

ある

完つすべきを確信するよ をもつて、 これ 竹成の 原質さ

は廿日午後大要左の如当賊西 世間

勃發

鹽藏と煮乾秋刀魚

する機構として影響をしむること見る観察である、現在までに切録し、財産と見られるに至ったまる機構として影響をしむること見る観察である、現在までに切録し、財産者と見られるに至った。

微想されてゐたがその後の供出状

新機構により配給統制を實施

り朝鮮電楽株式自社となるの件』 の前議がみ、ついで全役員退任に

の開催 副航電力管理令によ

を引いた。 を発生された。 を発生

七月十二日から同十六日までの 原は極寒が表現は、(優勝) への参 事項を財産可決した 歴史だかいて「穀房産業部養殖」加着定會社を多期較水プでは廿日

四時より朝鮮ホテルで野藩島懇談

法人朝鮮頻勝曾では世日午後 | 「任すること」し既戦を共にして

與農會器會開催

選炭設備に獎勵

素後における成績などについて、瞬に動する補償並に共助方法、瞬

決算案を可決

事業計畫に承認制

製造業者の

絵開係と眠み合せた逆になる解給 進上り取附に至る近一職せる統制

用裝置統制規則 石油代用燃料使 免税规定) は省略 免税规定) は省略

庸**蓋 統制規則を公布** 

營講習會

殿時統制経済の進展と伴い、各種

**石炭配給統制令**E

轉業體驗を聽取

豫類に九十除萬回を計上して選案を励るため、総督府では十八年度

けふから直ちに實施

證券發行內容は秘

長)片岡賀(鐘紡出展所長) 高見 | 職員二名を派遣、朝鮮運所に対す

軽金脂族制質の朝鮮支部設置の

國

债

社

買ひませう

豢

引受會社

證 券

(分類税も総合税)

國民貯蓄組合に

加入して 債を

織株式會社

鎖 生活を 勝利の 貯蓄の ための事

皮膚病にア **② 註 朝鮮商業銀行** 

京城府南大門通二丁目 明治三十二年

和男

\*\* ッ の近風

局を憶ふ…横光利一の英靈に…中井良太郎

『密席料理を御注文になれば、『おや、どうすればいへのさ』

肥後

本居宣長斷想

★學徒航空挺身記──遭続於際間報

へ 総力戦 贈制の張化 …… 日本語 力戦 に 発信 林芙美子┃▼(♥)期

スマ トラー戦争論雑成が本和版 望…中山省三郎

英靈に應へる臨時議會…(決戦時評) 海上輸送破壞戦の現狀…加治照義決戰 體制と 食糧 增產…大井上 康 対支文化工作の方向・山 5 青純 新日華関係の創造と 山 6 青純 國の知己への文

取引所令公布

國策協力機關として運営

に引きべこととなってある。以上 に関し熱質形では左の如き田中政

金山評價基準決定

大家家文

兒童文化

投資も絕對決戰型で!

題で組み存分に設理させませらり時島車が習近の生産力を投票の役職が認定の生産力を投票の役職を対する

券證田秋 五五一五②表代記题

建の結為無

きのよ總督府で委員會開催

力機關として運搬せしむること
力機關として運搬せしむること

本年度春蠶供出

早くも忠南が突破

の件を附職、原案通り可決した

大型燒夷彈

(普男工眼結局落何什也 所名 合內別 場 預確測 及電大十 開 門 建碘 产門/型 經 報 大 設 工工工

秋岡商會

を見るに、昭和十三年連級油消費

別正の対策として代用数料を使用 の動戦の一覧の影響を得るこ

Щ H

寺

19日五十月六

たつたが、この中間潜水地

士育成の機運助長に精進してゐる

た、川西日本航祭はこの年も内鮮 昭和三年半島の窓は最近度に拓け

成功したのである、この年

よつて内鮮湖の空を完全に征服し

無故で成功した、これと同時 東城、大連間の威女連絡飛行 ローレン四百島力により同年九

行の開始に張り出し川西式七 西日本航空が内解湖を結る西

穢れを淨めそゝぐ

**非嚴極**む神宮大祓式

山圏域の鳴きがふも輝々し、参列 と結べば式場は跳として頻気り南

了へ同四時陣事を請りなく終了し



## 日萬が全身これ間弾となって燃えた六月はすぎてける七月を現へる。然し決職段階

く銃後を題る國民の上に延

#華を再修職と自分の班内に若し戸籍及び最初の開出をしてない班員が居ったら如戸籍及寄留の居出を配行しよう。 全鮮の建議がはに野友が留し 前の欧洲大観でドイツは武力服して來ることは必然である。こ

大陸空路。の中間が地とし、思へは大正十五年と次の昭和二年。と頼鮮の歌語行政の武師が襲み手段。年間の経済は次第に多事と大陸空路。の中間が地とし、思へは大正十五年と次の昭和二年。と頼鮮歌語研究所の郷立、それに「来るまでに収録してきたのだ

史がアプロ式五〇四×20mkが行機を

征け容決戦争

小。めて三五直属線うて協議局はとって、場、関うのがらせること、なったがこれに、場のでのであること、なったがこれに、場のでは、現場のは、現場のでは、現場のでは、現場のでは、現場のでは、現場のでは、現場のでは、

~ 必勝信念の確保で撃退 手この手

毎月

樂劑士學說試驗

本社寄託献金 國防献金

[揮軍] ▲三十圓京城府開山町

必納の棚なのだ、種子際壁では終一層に突しませうと褶が衛生々指を一種利とる真の個単生活を促する一心身の健康に質に決敗」に滑減衛生を直んして任み良い半 汚れず、源らず、棚らず、海机・金銭なる精神は使命なる碁幣に一致七月の窓崎辺性観像広事事に特・照問

**住み心地よい健康半島を築け** 

今般東洋海上火災保險株式會社、豊今般東洋海上火災保險株式會社」ノ名科ノ
下ニ新廣足致ス事ト相成候間御高承ノ上今後不相變御条頭上ノ名科ノ
アニ新廣足致ス事ト相成候間御高承ノ上今後不相變御祭頭以災保險株式會社・豊 日新火災海上保險株式會社 昭和十八年七月 1日

內一丁目六番地一

付案内



に不滑を破び心身を清めて決議院

ご苦勞さま農報隊

千五百萬民衆の職務などのたが

列車で11班に分れて 暗城するが

決戦完遂の誓ひ

總力聯盟事務局し、大祓の儀

起つて大栗灰の如く放塞、第一次世界大阪に

福井班の一行

関射が弾丸砂管

在地 繁,群、军,军

洋楽とうしば









口鮮化學株式會社清算事務所

及信託ニ鸚スル芸敏父小表示順兵ノ株消ラル所十八年七月二日ヨリ臨時佚主総湾終了地界・山公・告

粥根錫山株式會批

公学ノ言語出 nd ・後春ヶ月ヶ郷に半異に現底財産分配を演選)週田時と町職人の職題 無効 公告

久久

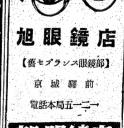
次米 \*醫

節院



化工株式會社

林疾に 



東田総雷 層而公曾 鮮明中尾本家 東田総雷 産品と芝加州中尾本家 の方や御心配の人

貯蓄戦にお手柄

四十三組をけふ表彰

町第一町會第一組受國班員一向は

精神を吹込む婦人層に戦場

日から八月廿日まで、京城各町會

なつた、指導者には形で解成後成

りも極かに多いのは幽聴家族のた

幽靈家族調查

夏に鍛へる 各町會一齊に

北部町會第六組、道林町會第組、

先づ清掃

班員が乗る 城北町愛國

號月七

盾者男

大陸種主國

99995555

55

本戦・議山松話順話 座談会 本山本元帥の英鴻 藍針 三 本山本元帥の英鴻 藍針 三 本一人子を物味ばた父の手記 大 本一人子を物味ばた父の手記 世 本一人子を物になる。 本にはなる。 本にはなる。 本にはなる。 本にはなる。 ないまする。 本にはなる。 本にはなる。 本にはなる。 本にはなる。 本にはなる。 本にはなる。 本にはなる。 ないまする。 本にはなる。 ・ 本にはなる。 本にはな。 本にはなる。 本になる。 本にはなる。 本になる。 本になる。 本になる。 本になる。 本になる

民教育を視察

府では府内南山公立國民學校

詩の街頭進出

## 神 前に新生を誓ふ きのふ京城神社で「大祓式」

(23)

製花高女でも 上半 製花高女でも 上半

稔つた汗の結晶

《五版物類々を心から前念

若淡江河畔でロケ

特別出演

京日案内

アイスクリ

京城縣市金華山食堂

ライの虎型焼夷彈

人道樹下砂原で〇〇部隊、京畿中

人形を頒う、大版の詞が朗々

から校庭で大成式を全校生徒製化高女では卅日午前十一時 の影響をねぐひ律めるため

して賊を仰し参列員に切職と

にも地形で決取 を経げての戦ひ な風災【第四一種四人型深 したが大紋に相感しい朗か

軍愛國部へ献金部隊殺到

がら から大に復興で移動展でも中るがら、松村時間會長等の眼明を貼き、外したりして最後に 、松村時間會長等の眼明を貼き、外したりして最後に と関係者を激励し約一時間を貸し は世日午後一時から一時間に亘つ

を見たら、一般もで いな胸を耐くよ。こ を見たら、一般もで

つく約四十歳の時を明念に置みながら

敵は謀略に必死だ

學童らの赤誠 収・同は

並人協會の協議を得て領路和信七 文化試の気材主事を禁門して曹墉がその誘路會員を助員し、朝鮮越、力職盟事務局額長は廿日午前十時

米英興減せさるべからず一詩人も | 詩選班度 | は朝鮮としては初めて

『辻詩漫畫展』和信で蓋開け

また起ち上つた、朝鮮文人報國會

の詩の街頭遊出である、

山圏へそつくり國防献金とし

「棒高飛」の中澤氏、龍中生に說く

れば强くなる

横着な荷馬車挽を一掃 龍山署が趣旨徹底に乘出す

近荷中島車挽の中で荷車に乗っ一めだと永登浦運役所では警察と連

さずがに彼女の第六個は戦かつ

甲斐計理事務所

地壳特約店娛集在 庫 軆 富

月1日=9

1555555555555555555 



東亞女子





建築修理

**法**和 金子醫 金子醫

寺

佐 内藤小 東上八八四 **彩科**<sup>並</sup>

**巾ウエス各種糸ご紐** 用ロープー用麻糸 シデ紐紙紐 黄金町一 J 目 行

クシャマト 肉盛・原寸・再生

九九

輕金屬合金の破損磨耗修理加工 防・錆・耐酸・耐熱・特種 鍍金・加工 朝鮮メタリコン工業所

田中總監談





激闘を語るプロペラの弾痕(States The Bank Called The American

『七・七記念日を迎へて」吳震脩談

理動するのでき、今後

回收物件の醸選申込、撥去、引

拒否せんと

郷を中心に挑鍵した総動は日と共一する集職の流のどこを変く

對ソ補給線は停頓す

エアン他に依るとジプラルタルに

じてあたのであるが、一見町こをう可引くこ時間では、中國の一名して同議間の自宅的一目力更生の熟意に燃えて、中國の

現實に最も適應した統制方式をも 飲されるやうに全力を住ぐ心気で

レベルシャ風とカスピ海を結ぶ戦

英艦隊出動

南阿ミ斷交か

米戦艦地中海

収物件で加へた、しかして企

油脂技術の交流

これを見違うたことは敵なる動」に終入して行うてよいかどうかを、もい路撃隊の整備はやらねばなら、終ても然りで、これまで輩去」「脚に関すことを敬れたをあでこれ、見るなの見違うたのである。今後、ぬ

確立された公共性

金屬類回收令の改正で需給確保

象としてゐたがほとんと回收計畫

非道を實力で是正

極東軍司令官更迭

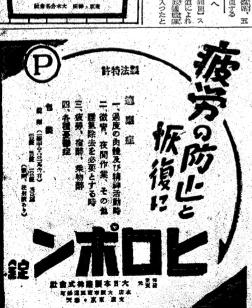
米國は東洋民族屈辱の首魁だ

これによれば南大将の郷出は職費しまつ、マクシム・アレクセーエフ、マクシム・アレクセーエ 同地方は、関

重慶よりの抗酸に

きる

五



la

「モクロピンの遺血



特殊建材の出現(興田石) 専費特許耐火建築材 の出現(国名)



英、巡洋艦撃沈 - 「ベルリンサカ目同盟」ドイツ町にベルリンサカ目同盟」ドイツ町

のや果服店

御得位樣

を問ン開け例を観察にジャを観といる。

店

御 拶



## 奮起せよ 富裕階級 總監、烈々の、貯蓄訓

田中政務線監は、世日宇宙・時から線監腰接塁に行はねた本 された十二個貯蓄達成強軍運動は計る世日をもつて終るが、 旧数を映画されて も中ま一位の方法ですることになってある。 なければならないが、 旧者の側は

る、麒麟では全國初の郡地金雅金」り、その根本をなすものは、われるちらもその方針に則るわけであ一先づもつて國民の生活切下げであ 官民共に策闘を建直して行かう ら國民の無敵だ、二千五百萬は、 個で「しは意識ふかいものがある ※室、を促りを加へは、十二份蓄差成運動通問が終るに際り での生活、インフレの防止をめざして二千五百萬が貯蓄へ減

上陸作戰呼號

は生命する一方で

汗をくとはつて國にの問題にたしい。卅日は管公器の

ることとなった、 之に よって

協議會運營に

結核の豫防と治療に

フルカオビ

けふの市況(書)

保

経へてその豫師行軍として京城女

艺

生の行軍力機定を目標に女子師範を解を暴後の概

防空日

9同月世日まで第九回城時的客間 【東京電話】政府は六月十五日

賞與期狙つて

債券一億圓賣出

行政と内務行政との関係は今後の総派 罷業坂夫十三萬

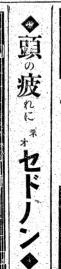
八原五十分 孔明は、帰るところの前山へ兵 を李殿が、永安城から前級へ兵衛 行はれてゐると途中で聞 男の顔に出ると白々しく 『潮水を挟んで大金殿が に楽はれてはと存じ、 高一大事な民間を 迎縁に力を入れてゐ













侵畵の勢揃ひく H 同時封切 18 陸軍省報道部 入陸新戰場

『常原館感大會はいよいよ今國 | 中央大會中心主義を全く一蹶、図 | 大會と麗打ラマ、十一月三日金國『常東衛語』本年世第十四回明治 | 西町圏の心身縁成を目指し従來の | 設け、第十四回開治碑宮國民無成 一億の厚生體錬 明治神宮大會の施行方針決る 一代織定など、職場人どは郷曳、

英の虚構宣傳

本規模なものだ。ボルネオにつ の配さで健場内には鐡道が敷 鐵木とある木は鉄筋コンクラ

問題はまう「タピオカ」をあけ が嚆矢であらう、なほ資源利用

すべきものだと思る、なほこ

末中田る語

田中氏、寶庫南方、の土産職 **杉大** で目最新式のものを利なども

奏を投入したり、または石油の

で復聞には二、三年かかると思

文献三種である、その破骸には

日に亘つてスマトラ、ジャツ、モ

蘇る油田

いもので、また石油の精製設施

場と棄ねて答んである。その大

せねばならな**ず、**関く所に依る。 非動行し今後も益々貯蓄を関行

曜に早朝放送

っためにその生活の建直しを見

の最終の廿日、白石朝鮮貯蓄銀行

心見から毎月

『貯蓄強勝運動は終つたが貯蓄は 生活切詰め

とついて研究機関をしなければな

終のなる』を十二億近暑風騰運動

その生活のうち、特に貯蓄の重要性を強闘すると共に、最低

| 大東亜版下 完勝に 協力する 瀬州 制度施の喜びに朔く年岡常年一突破、鬼職、鬼なのよーテカ攻 漢江で未曾有の戦闘ロケ

、若き姿々に盛る近代科學戦

後一一國一心爾夫野橋村(繪) (1831 特色高級看機拔式 この時の包載では、同思節は全

日證立會時間變更